

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府・堺市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	堺市地域文化遺産活用活性化実施計画		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「市民と創る歴史文化のまち堺」を基本コンセプトとする、自由都市堺文化芸術推進計画(平成28年3月策定)で掲げた施策の体系に則ると同時に、これまで守り育まれてきた歴史的風致の維持及び向上に向け取り組む「堺市歴史的風致維持向上計画」(平成25年11月22日策定)をふまえて、堺市固有の歴史や文化資源を活用した以下の事業を実施する。特に伝統文化継承基盤整備事業では、継承者の養成に継続性が必要であるとともに本市の場合市域が広く対象になる伝統文化も数多いことから、事業の検証を行いながら継続した計画性の推進が必要である。</p> <p>本計画に基づく事業の実施により、市民への文化財保護意識の啓発、地域に対する愛着の醸成、伝統芸能・行事・技術の保存伝承による地域の活性化、伝統芸能・行事・技術を伝承する団体・市民への支援などの効果を通じて、伝統文化を将来にわたって確実に継承し発展させる。合わせて、これらの事業を通じて、伝統文化を支える人材を育成するとともに次世代を担う子どもたちが歴史・伝統・文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を涵養する。</p>			
1. 地域の文化遺産次世代継承			
(1) 普及啓発事業			
①堺の伝統工芸・文化遺産ワークショップ事業(平成24年度～33年度)			
(2) 調査研究事業			
②美多彌神社流鏝馬を中心とした和田地区(現在の美木多地区)調査研究事業 (平成26年度～33年度)			
③大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通調査研究事業(平成26年度～30年度)			
2. 伝統文化継承基盤整備			
(1) 記録作成事業			
④美多彌神社流鏝馬記録作成事業(平成29年度～33年度)			
⑤津久野地域伝統文化記録作成事業(平成29年度～33年度)			
(2) 後継者養成			
⑥国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のおどり後継者養成事業(平成23年度～33年度)			
⑦船待神社神楽子供獅子踊り後継者養成事業(平成23年度～33年度)			
⑧美多彌神社流鏝馬後継者養成事業(平成25年度～33年度)			
⑨大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通後継者養成事業(平成24年度～33年度)			
⑩開口神社八朔祭後継者養成事業(平成29年度～33年度)			
(3) 用具等整備事業			
⑪国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のおどり用具等整備事業(平成23年度～33年度)			
⑫船待神社神楽子供獅子踊り用具等整備事業(平成23年度～33年度)			
⑬美多彌神社流鏝馬用具等整備事業(平成25年度～33年度)			
⑭開口神社八朔祭用具等整備事業(平成28年度～33年度)			
⑮津久野地域伝統文化用具等整備事業(平成29年度～33年度)			
<p>※『自由都市堺文化芸術推進計画』はURL (http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/bunka/bunka_jorei/bunkagei_jyutusuishinkeikaku.html) ・ 『堺市歴史的風致維持向上計画』はURL (http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/rekishi/bunkazai/bunkazai/rekimachi/rekimachi_nintei.html) を参照。</p>			
6 実施体制			
<p>堺市が、本実施計画に係る全体の企画、調整や、各補助事業に係る指導を行う。主な担当課、役割は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化観光局文化部文化財課：各補助事業における指導、調整等 <p>また、補助事業は堺市地域文化遺産活性化実行委員会及び実行委員会に組織された次の団体が実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堺市地域文化遺産活性化実行委員会(委員長：大丸 一) ・構成団体(堺おどり保存会、船待神社神楽子供獅子保存会、美多彌神社流鏝馬保存会、堺式手織緞通技術保存協会、開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会、津久野地域伝統文化保存継承実行委員会) 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 72,535 千円	平成29年度申請額： 12,263 千円
	(2) 実施事業の概要	地域の文化遺産次世代継承事業、伝統文化継承基盤整備事業を通じて地域の文化遺産に対する関心や認知度・意識を向上し、文化遺産の確実な保存継承、地域の活性化を図る。(別紙②参照)	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

本事業を実施することにより、より正確に伝統文化を伝承することができ、市民の地域の文化遺産に対する関心や認知度・意識が向上し、今後市民の力による地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携、協力体制が構築されるとともに、世代を超えた連携がすすむことが期待できる。さらに平成32年計画「市マスタープラン」で目標としている堺の豊かな歴史資源や文化資源を身近に感じることができるとされる割合90%に高め、観光ビジター数1400万人の増加に寄与することができる。

◆地域文化遺産活性化事業

1. 地域の文化遺産次世代継承事業

(1) 普及啓発事業

①堺の伝統工芸・文化遺産ワークショップ事業（実行委員会）

ワークショップ事業を実施することにより、今まで注目されてこなかった地域の文化遺産に対する市民の認知度が上昇し、市民が地域の文化遺産を再発見し、自らの地域を活性化していこうという意識醸成につながる⇒事業参加者アンケート等で検証

(2) 調査研究事業

②美多彌神社流鏝馬を中心とした和田地区（現在の美木多地区）調査研究事業（美多彌神社流鏝馬保存会）

流鏝馬を中心とした地域の伝統文化に関する中世・近世の資料についての記録作成、調査研究を有識者の助言を得ながら地域の人々が自らおこなうことによって、伝統文化をより正確な形で伝承することができ、地域住民の意識が高まる。

③大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通調査研究事業（堺式手織緞通技術保存協会・堺市堺地域文化遺産活性化実行委員会）

堺の古緞通及び緞通技術に関する資料の調査及をおこなうことによって、現在は途絶えてしまっている堺緞通最盛期である明治～大正時代の技術のあり方を知ることができ、伝統技術としての堺緞通の伝承をよりいっそう進めることができる。また報告書作成及び有識者検討会をおこなうことにより、これまで蓄積してきた記録について、適切に有識者の知見を反映させながら公開することができる

2. 伝統文化継承基盤整備事業

(1) 記録作成事業

④美多彌神社流鏝馬記録作成事業（美多彌神社流鏝馬保存会）

美多彌神社流鏝馬の継承用記録映像を作成し、後継者養成事業として実施される講習などで活用することで、後継者養成につなげる。また、普及版映像を作成して講演会や流鏝馬行事で活用し、HPなどで動画をアップすることで、伝統文化と祭礼行事についての理解を深めることができる。

⑤津久野地域伝統文化記録作成事業（津久野地域伝統文化保存継承実行委員会）

踞尾八幡神社例大祭（だんじり祭り）に使用される宮山地区のだんじりの修理過程及び、秋祭りにおけるだんじり曳行、だんじり囃子などの記録を作成し、活用公開することで、地域の人々の伝統文化に対する意識が向上すると同時に、堺市内外から秋祭りを訪れる人々が増加し、地域活性化につながる。

(2) 後継者養成

⑥国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり後継者養成事業（堺こおどり保存会）

保存会会員を対象とした保存伝承講習会及び、指導者の相互の技術向上をはかる養成研修（予算計上なし）をおこなうことで、踊りや歌の継承に関する伝承者の意識が高まる。

⑦船待神社神楽子供獅子踊り後継者養成事業（船待神社神楽子供獅子保存会）

お囃子の笛や太鼓を生演奏でおこなうための講習を実施することで、演奏や演技に磨きがかかり、伝承者の意識向上につながる。まだ獅子踊りを卒業した中学生がお囃子を学ぶことで、伝承世代の断絶を防ぐことができる。

⑧美多彌神社流鏝馬後継者養成事業（美多彌神社流鏝馬保存会）

後継者育成のための流鏝馬の講習や講習した成果を市民に披露することにより、地域における保存伝承を活性化すると同時に、流鏝馬に対する市民の理解を深め、次世代の後継者を拡大することができる。

⑨大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通後継者養成事業（堺式手織緞通技術保存協会）

明治～昭和初期の大型織機を使って後継者育成をおこない、講習会を市民に公開することで、堺緞通に対する市民の意識を高め、伝承者の養成につながる。

⑩開口神社八朔祭伝統文化後継者養成事業（開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会）

若手の保存会会員を対象にした講習会を実施することにより、伝統文化の正しい継承をはかることができる。また、後継者養成を通じて、堺旧市内の成り立ちにもかかわる伝統ある開口神社の最も重要な祭礼である八朔祭と宮入するふとん太鼓の価値についての理解が深まることで、市民の伝統文化継承の意識が高まる。

(3) 用具等整備

⑪国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のおどり用具等整備事業（堺おどり保存会）
傷みが激しく不足している用具（外踊り用一文字笠・頭台・音頭取り用おけさ笠・外踊り用履物）を伝統的な仕様にもとづき新調することにより、より良い状態で伝統文化の伝承をすすめることができ、祭礼行事への住民の参加者増加にもつながる。

⑫船待神社神楽子供獅子踊り用具等整備事業（船待神社神楽子供獅子保存会）
数が不足している用具（お囃子用衣装・子供獅子頭・踊り手の手甲）を伝統的な仕様にもとづき新調することにより、伝承者の意識が高まり、芸能の質も向上する。それによって、祭礼行事へ参加する住民の数の増加につながる。

⑬美多彌神社流鏝馬用具等整備事業（美多彌神社流鏝馬保存会）
流鏝馬の後継者養成及び行事の催行のために欠かせない流鏝馬衣装の一つである流鏝馬用水干を、有識者の指導のもと、伝統的な仕様に則り新調をおこなうことにより、伝統文化に対する意識が高まり、祭礼行事へ参加する住民の数の増加につながる。

⑭開口神社八朔祭伝統文化保存伝承用具等整備事業（開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会）
これまで修復または新調することができず、応急措置的に対応してきたふとん太鼓が、有識者の指導のもと伝統的な仕様に則って整備されることにより、ふとん太鼓の宮入をより適切におこなうことができる。またこの事業をきっかけに、開口神社の氏子区域である各地区の世代を超えた連携がすすみ、歴史を見つめなおす機会にもなる。

⑮津久野地域伝統文化保存伝承用具等整備事業（津久野地域伝統文化保存継承実行委員会）
踞尾八幡神社の秋祭りにおけるだんじりについて、有識者の指導のもと、伝統的な仕様に則り修理がおこなわれることによって、秋祭りにおけるだんじり曳行をより安全におこなうことができる。またこの事業をきっかけに、踞尾八幡神社の氏子区域である各地区の連携がすすみ、だんじり関係の事業ばかりでなく、他の伝統文化の再発見、保存伝承につながる動きをつくることができる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

平成25年～34年の10年間を計画期間とした『堺市歴史的風致維持向上計画』の認定を平成25年11月22日に受け、本計画を有識者等による評価を行い計画の質を担保しつつ、着実に実施している。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	堺市文化観光局文化財部文化財課
-----------------	-----------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	住民意識調査による「歴史資源や文化資源を身近に感じることができる」割合			関連事業 :	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮	
目標値 1 :	平成 28 年度		42 (%)	⇒	平成 33 年度 90 (%)	
設定根拠 1 :	アンケート意識調査により算出、堺市マスタープラン(市政基本的戦略プラン)の目標と合致					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	地域の文化遺産関係展示等を実施する市立町家資料館の年間入館者数			関連事業 :	①	
目標値 2 :	平成 27 年度		21,067 (人)	⇒	平成 33 年度 24,000 (人)	
設定根拠 2 :	毎年500人増を目標					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	祭礼行事等の保存会会員数及び技術伝承者数			関連事業 :	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	
目標値 3 :	平成 28 年度		390 (人)	⇒	平成 33 年度 470 (人)	
設定根拠 3 :	祭礼行事(こおどり、船待神社神楽子供獅子、美多彌神社流鏝馬、開口神社八朔祭、緞通技術)各保存会会員数、毎年15人増を目標					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 4 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	櫻井神社秋季例大祭、船待神社例大祭、美多彌神社流鏝馬行事、開口神社八朔祭、津久野地域例大祭への集客数			関連事業 :	⑪⑫⑬⑭⑮⑯	
目標値 4 :	平成 28 年度		5,650 (人)	⇒	平成 33 年度 10,800 (人)	
設定根拠 4 :	各地域合計毎年1,000人増を目標					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	

